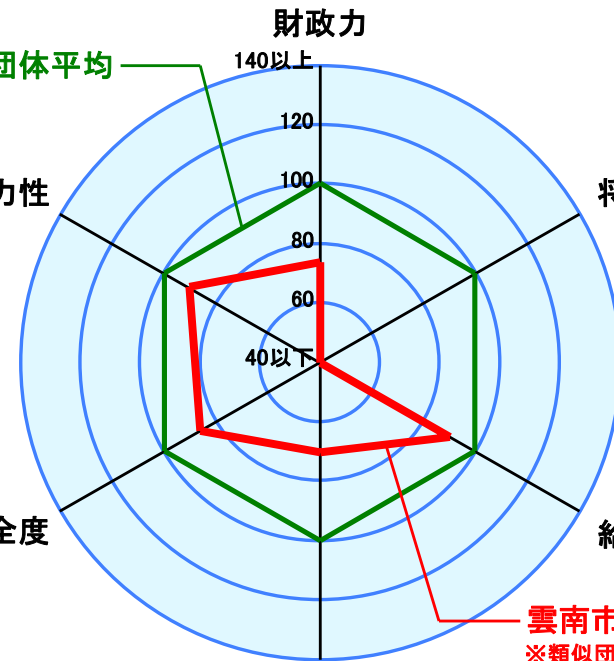


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

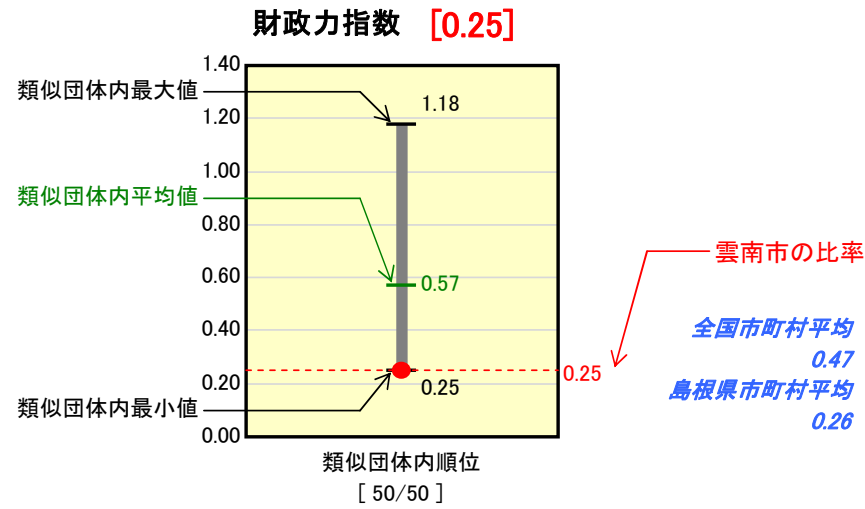
島根県 雲南市

人口	45,870 人(H17.3.31現在)
面積	553.37 km ²
歳入総額	37,973,594 千円
歳出総額	37,644,662 千円
実質収支	280,260 千円

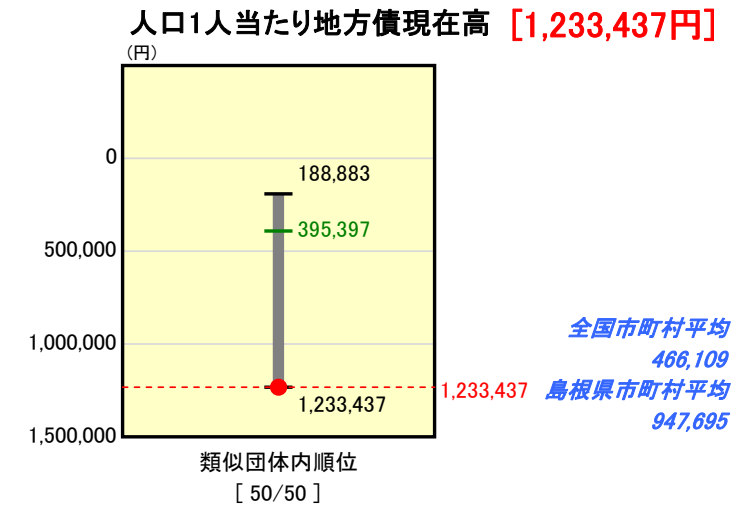


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

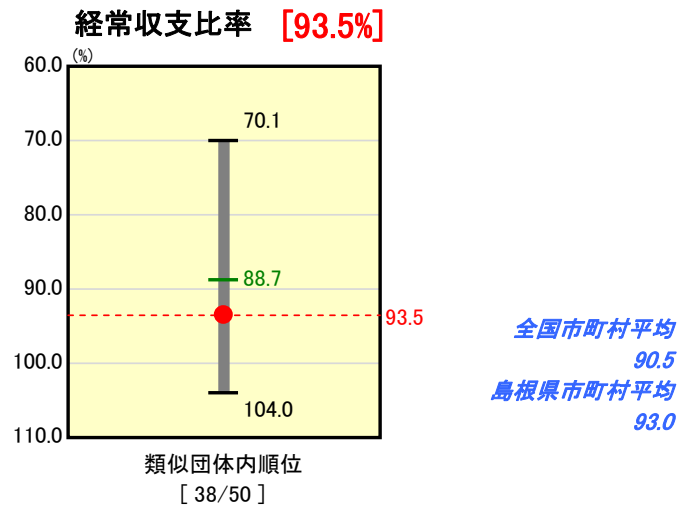
財政力



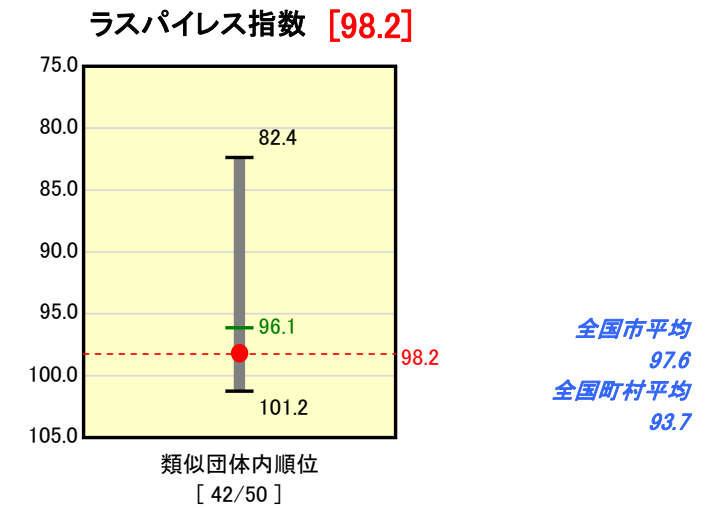
将来負担の健全度



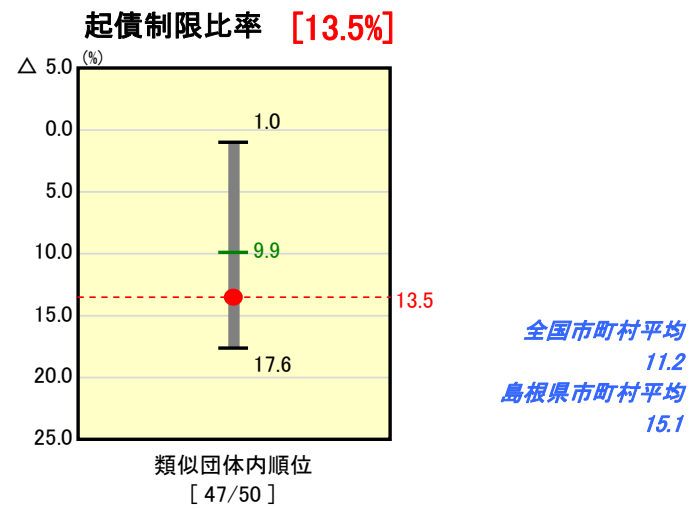
財政構造の弾力性



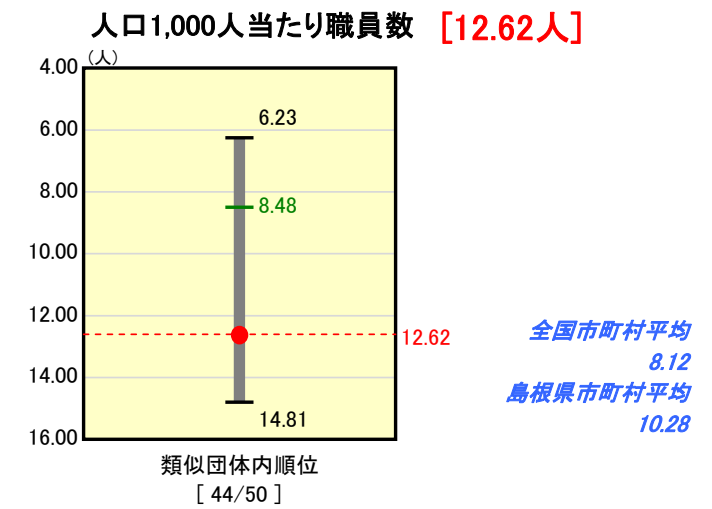
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

【財政力指数】

本市は平成16年度に6町村の合併により発足した新市であるが、人口の減少や全国平均を上回る高齢化率に加え、産業基盤も弱いため、類似団体平均を大きく下回っている。今後、産業振興により財政基盤の強化に努める。

【経常収支比率】

今後、過去の普通建設事業に伴う公債費の上昇はあるものの、合併効果を生かした人件費の削減、物件費、補助費等の徹底的な歳出削減を行ない、経常収支比率の改善に努める。

【起債制限比率】

今後、起債償還額は、平成21年度まで上昇していくが、中期財政計画等に基づき、計画的で必要度の高い普通建設事業を行い、新たな市債の発行額を抑え、繰上償還等により財政の健全化に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】

合併前6町村において整備した類似する公共施設が数多くあるため、類似団体を大きく上回っている。平成17年度で一部繰上償還を行っているが、今後、中期財政計画・公債費負担適正化計画に基づき、普通建設事業に一定の枠を設け、緊急度の高いものから実施することで新たな市債の発行額を抑え、平成21年度末には992千円以下になるよう努める。

【ラスパイレス指数】

現在旧町村間の給与調整中であるが、平成17年度に給料月額5%、期末勤勉手当10%、管理職手当50%の給与削減を実施したほか、退職勧奨により、職員数削減にも取り組んでおり、今後も人件費総額の抑制に努める。

【人口1,000人当たり職員数】

合併協議において、一般職員を10年間で150人程度削減することとし、平成16年度に30人を削減した。平成17年度で定員管理計画を策定。前期5年間(集中改革期)に約50人、その後の5年間で約70人の削減を図る。